

有機農業を町の政策として推進しては

町としても積極的に支援したい



エンジェル 千代子議員

質問：町の農業政策として、有機農業を推進してはどうか。

答弁：富士見町でも、安心・安全の高付加価値を追求して農業をやっている方がいることは承知しています。しかし、それだけで生計を立てるのは困難な現状です。

有機農業への支援として、イターン促進のためのパッケージに有機農業も入れたいと考えています。

質問：徳島県上勝町の「いんじり」のような注

文管理システムの研究をしてはどうか。

答弁：第一に、企業センス・情熱・こだわりを持ち、どうしても事業を成功させるといふ優れた人材が現れるかということがキーポイントです。

システムは、技術的には簡単ですが、まず投資対効果を考慮し、どれくらい技術のビジネスシステムを作るかを検討する必要があります。

□その他の質問

\*富士見町の魅力について



消費者に送られる  
富士見産の有機栽培野菜

開発公社の賃貸借に関する  
約束不履行の責任所在は

開発公社は実質「町営」です



小林 市子 議員

質問：今まで開発公社に支出した合計金額と返済の見通しは。

答弁：開発公社に係わる昨年までの借金は33億3千6百万円、現在残っている借金は23億3千6百万円です。

平成14年に上下分離方式が決まった時に51億円あった借金も、町民の皆さんの税金で少しずつ返

済し、町の起債18億円、開発公社の借入金5億3千6百万円が現在残っています。

町の起債は平成31年で完済の予定、開発公社の借入金は、平成30年で完済の予定です。

年間の返済額は、町が1億8千万円、公社が5千9百万円です。財政的には保てる見通しです。

質問：賃貸借に関する約束不履行の責任所在はどこにあるか。

答弁：開発公社は実質町営。公社との連結責任から、責任の所在は町にあります。

□その他の質問

\*農業政策策について  
\*鹿肉利用と供給について